

未来のあざさ苑の活用を考える 町民ワークショップ（第2回）

なぜ、ワークショップを開催するのか？

子どもから高齢者まで様々な世代の方の健康と福祉の増進、レクリエーションなどを通じた生きがいくりの場として運営しているあざさ苑は、平成13年6月の竣工から22年が経過し、老朽化が進み設備の改修を考えないといけない時期になりました。あざさ苑に求められている機能は何なのか、魅力ある施設にするには何が必要なのか、住民のみなさまからご意見をお聞きしたくてワークショップを開催することになりました。

第2回目のテーマ 「三宅町にあったらよい施設、あざさ苑にあったらよい施設を考える」

みなさまからいただいた意見

① 三宅町にあったらよい施設

防災・安全について

- ・ガソリンスタンド。東日本大震災の時にガソリンがなくて大渋滞になった地域がある。
- ・町内に施設の表示を設置。夜、あざさ苑で会議すると言っても、来れない人がある。

交通について

- ・レンタルの自転車やキックボードなどがあって、気軽に乗って駅で乗り捨てて…のような仕組みがあればいい。
- ・デイサービスの送迎バスを、時間外で借りることはできないか？

交流について

- ・世代間で気軽に集まれるところがあったらいい。縦で繋がれるシステムづくりが必要。

生活について

- ・町の食堂、小学校の給食を食べられたり、食の部分で何か出来ないか。
- ・スーパーが欲しい。車で移動しなくてもいいお店やスーパーが欲しい。

キャリアアップについて

- 資格取得のための講座開催。妊娠出産でキャリアが途絶えた人に学びの場を提供。その間、子どもを預かれるような体制があればいい。

② あざさ苑にあったらよい施設

交流について

- ・多世代が交流できる場所が欲しい。ソファを復活して欲しい。
- ・スケボーパークや3 on 3 ができるバスケ、eスポーツ。「野球の町」を活かし、少人数でもできるストラックアウトやバッティングセンターができるような場があればいい。
- ・子ども達のことを考えるとスケボーパークやKids パーク、ボルダリングができる施設。運動場があるので、一体として考えればいいのではないかな。

健康について

- ・あざさ苑の性格付けを「健康」「スポーツ」に絞り込めばいい。マラソンを中心にすればいい。〇も走ったら〇P といったポイント制にし表彰（インセンティブ）をつける。
- ・1階にチョコザップ。日常的に、誰でも気軽に利用できる施設にするといい。

学童保育クラブについて

- ・道路を渡らなくて済む。図書室の横に学童があり、図書室ではガヤガヤしてもいいんだ！と使用方法について間違った認識をしてしまう可能性がある。

浴場について

- ・1階でいいのでは。コスト削減を考えると、お風呂は大きくなってもいい。コンパクトなものでいい。
- ・お風呂はあった方がいいとは思うが、シャワールームでもいい。

周知・情報発信について

- ・あざさ苑を知らないなので便利か不便かも分からない。無料で利用してもらい施設のことを知ってもらう。次からは有料にする。
「まず使ってもらおう」を目指せばいいのではないかな。
- ・町おこしイベントをすれば、半年以上前に予約が取れるし、使用料も無料だよ、という風にしてみては。このやり方をしている自治体があり、良い取り組みだと思う。
- ・町のHPや掲示板、デジタルとアナログ色んなものを使って情報発信をすればいい。
- ・あざさ苑には和室がある。和室と栄養指導室、健民グラウンドがあるので、合宿の誘致をしてはどうか。布団はレンタル出来るのでたいした問題はない。